

すわみつえ通信

No.162 2021年2月22日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

新型コロナウイルスワクチンの接種事業が始まりました。安全で速やかに進めるよう求めています。また、高齢者入所施設において職員対象のPCR検査が実施されます。陽性者があつた場合の対応、くり返し社会的検査の実施を求めています。減収のある事業者、労働者へのきめ細かい支援策で暮らし応援の予算を求めます。

新型コロナウイルスの対策

市民のいのちと暮らしを守ることを最優先に

2021年度当初予算議案

- 一般会計歳入歳出 390億3,500万円
＜前年度比で6億円の減額＞
- 特別会計歳入歳出 227億9,000万円
＜前年度比で1億8,100万円の減額＞
- 公営企業会計(水道下水道)
87億8,300万円
＜前年度比で8億7,900万円の増額＞

*2020年度一般会計・特別会計などの補正予算議案5件、教育長任命・農業委員任命・人権擁護委員推薦等承認、条例改定等の議案を含め53件の議案を審議します。

2021年度予算審議の 3月議会定例会が始まる

少人数学級での教育を

教育行政では「小・中学校適正配置審議会」で市内全域の方向性を具体的に決めていくと提案されています。「コロナ禍で子どもたちの不安とストレスが一段と高まっています。また、35人学級に向けての取り組み、ICT教育の開始など課題が山積みの中で、笠原小学校の廃校決定のように住民の意見が十分に反映されない統廃合ありきで適正配置を議論すべきではないと考えます。」

コロナ禍で、急ぐ事業が

「コウノトリを持続可能なまちづくりのシンボルとして、自然環境を保全・再生する取り組みを行う」として、コウノトリの飼育を始める事業に4,913万円の予算を組んでいます。「道の駅」のための用地取得、造成、道路設計、管理運営事業者選定の仕様書作成などに3億3,638万円の予算を組んでいます。

これらの事業は急いで実施しなければならぬのでしょうか。市民生活に重点を置き質していきます。

高齢者に優しい福祉へ

平均寿命が延びている、近隣自治体の支給状況から「敬老祝金」対象を減らす。現在の75歳・80歳・85歳・90歳・100歳の6回の節を77歳・88歳・99歳

100歳の4回の節に変更する。

長生きを祝ってもらえないと感じてしまわないでしょうか。



= 3月市議会 =
2月24日(水) 開会
3月22日(月) 閉会

市民の皆さんが納めた税金が市民のくらし優先のために使われるよう議会で審議してまいります。
ご意見・ご要望をお寄せ下さい



(右の写真) 2月15日、北の空に虹が2本！見えました(鴻巣市内で)

俳句コーナー

虹二重五度目見ること希いつつ

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



大宮で桜満開、一足早い春 JR職員、 高崎線・埼京線の車窓から桜を見や すいよう工夫 花見難しい今だから

埼玉県さいたま市大宮区のJR大宮駅とさいたま新都心駅間に位置する大宮操車場の「大宮操（そう）の桜」が満開となり、見頃を迎えた。すぐ両脇を走る電車の車窓からは、一足早い春を感じることができる。

旧国鉄大宮操車場だった約40年前に職員が植えたと言われる寒桜で、さいたま新都心駅が完成後も伐採されずに1本だけ残った。操車場内にあるので「操の桜」と名付けられたと

いう。敷地内は立ち入り禁止だが、両脇を通る高崎線や埼京線などの車窓から、桜を眺めることができる。

高橋礼一駅長（57）によると、今年は例年より約2週間早い1月下旬に開花。2月いっぱい咲き誇り、同時にライトアップも行う。2月17日の同駅誕生60周年を記念し、車窓から桜がより目立つようにと、職員が手作りの看板を設置した。

高橋駅長は「コロナ禍で花見もできなさそうな状態なので、車窓から一瞬でも桜を眺めてもらい、心が和んでくれたらうれしい」と話している。

【埼玉新聞 2月18日付】

「5を書く」合格願掛けGoGo 絵馬 諏訪商議所が復刻



受験生を応援する「合格GoGo絵馬」を、諏訪商工会議所（諏訪市）が作った。数字の5を書き入れ、合格（5を書く）に引っ掛けた絵馬で、30年余りに諏訪市内の学習塾が考案、受験生が願掛けに使っていた。塾は既がないが、当時の塾生で同商議所職員の中沢源雄さんが「すてきな伝統を残したい」と復刻した。2月23日に同商議所が市内で開く飲食物の販売会で無料配布する。

絵馬は紙製で横15センチ、縦10センチ。数字の「5」を大きく二つ書き、氏名や合格発表日、志望校名を記して学習机に飾ったり持ち歩いたりする。中沢さんは、かつて絵馬に勇気づけられて志望校に合格したという。千枚を用意し、「おちつけ。」と書かれたばんそうこう形のシールと一緒に配る。弁当や惣菜を買わない人も無料でもらえる。中沢さんは「自分を信じ、合格のイメージを持つために役立ててほしい」と話している。販売会は新型コロナウイルスの影響で客足が減った飲食店の支援と、受験を間近に控えた学生への激励を目的に開く。同商議所は「心のこもった料理で体調を整え、笑顔ある春にしたい」と話している。

（信濃毎日新聞 2月20日付）

＜新型コロナ＞ ワクチン、県内の医療 従事者23万人に4万人分 ささやか 過ぎる … 知事、割り振りに落胆

大野元裕
埼玉県知事



国は2月19日、医療従事者向けに優先接種を行う新型コロナウイルスワクチンについて、3月1～14日の間に埼玉県内に42箱4万9500人分を出荷する計画を示した。県内の医療従事者は約23万人で、大野元裕知事は報道陣に「医療従事者数に応じて割り振られたと聞いたが、ささやか過ぎる」と落胆を示した。

国が都道府県に示した通知によると、ワクチンは1回目の接種分で、2回目の接種に向けては3週間後に同数のワクチンが再度出荷される。国は今月24日までに配送先とそれぞれの箱数を報告するよう都道府県に求めている。

大野知事は通知を受け、「厳しい状況でもコロナ病床を多く確保していることを（配分数の）検討に入れてほしい」とワクチン接種を担当する河野太郎行革担当相に電話で申し入れたことを明かした。

【埼玉新聞 2月20日付】